

2025年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 『世界一幸せな国』フィンランドの高齢者福祉とはー

研修のテーマ・企画ポイント

フィンランド在住歴31年、高齢者福祉と教育の現場で長年視察プログラムや交流アシスタントを担当してきたコーディネーター、**ヒルトウネン 久美子さん**が講師を務めます。画像や動画を用いたレクチャーや福祉施設の現場で働くスタッフのインタビューを通して、「世界幸福度ランキング」8年連続1位を誇る北欧の小国、**フィンランドの高齢者福祉の現状と課題を詳しく解説**します。

- 1 久美子さんの人生観を変えた重度認知症高齢者施設「ヴィッラ・タピオラ」。最期まで自分らしく生きる施設での取り組み事例をご紹介します。
My介護士制度 自己決定権 日頃のアクティビティ
- 2 入居者の日常を垣間見ることができる写真、ビデオを多数ご用意しています。
(個人情報に厳しい北欧諸国において、入居者が写っている資料は大変貴重です!)
- 3 「ヴィッラ・タピオラ」が北欧諸国で福祉事業を広く展開する大企業の傘下に入った背景とは？
フィンランド高齢者福祉の現実と未来を考えます。
- 4 ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが可能！コーディネーターや現場で働くスタッフとリアルタイムで交流できます。

コーディネーター兼通訳

ヒルトウネン 久美子氏

オンライン研修の
経験も豊富！



フィンランド在住歴31年。全日空、フィンランド航空客室乗務員を経てフィンランドに移住。
2003年にKH Japan Management Oy(KHジャパンマネジメント株式会社)を設立、代表を務める。

教育、保育、福祉分野を専門とし、通訳、視察・プロジェクトのコーディネート業務を担当。

担当件数は年間約30件、これまで7,000人に及ぶ日本の方々にフィンランドを紹介してきた。本物のフィンランドを日本に紹介し、日本の未来構築に貢献することをミッションとしている。

【見学施設】

Attendo Villa Tapiora
＜アッテンドウ ヴィッラ タピオラ＞

高齢者が最期まで自分らしく生きることができる重度認知症高齢者施設。そのサービスの質は高く評価されており、2021年には国連の高齢者人権調査団が視察に訪れた。首都ヘルシンキに隣接するエスポー市にある。2025年3月、北欧諸国で大々的に福祉事業を展開するAttendo社の傘下に入った。



1日目：講義

日時：2025年9月17日(水)
日本時間 16:00～18:00

- フィンランド高齢者福祉の概要
北欧の小国が高福祉国家となり得た背景には貧しい国の歴史と自然環境が大きく影響しています。
文化的背景をふまえ、解説します。
- 福祉サービスについて
- 2日目の高齢者施設の概要説明
- 質疑応答

2日目：高齢者施設見学

日時：2025年9月24日(水)／ 9月25日(木)
日本時間 16:00～18:30

※2グループに分けて実施する予定です。

日程については決定通知でご確認ください。

※最後の30分は受講者同士の交流の時間とします。

- 「ヴィッラ・タピオラ」で実践している取り組み事例
事前に録画したビデオをご覧ください。
現場から学ぶ成功例、「本当に必要なサービスとは？」
My介護士制度、自己決定権、入居者の日々の様子などを
ご説明します。
- 「ヴィッラ・タピオラ」が大手企業の傘下に入った
背景とフィンランド福祉の未来
元施設長トゥーラさんとの対談を予定しています。
- 質疑応答

オンライン会議システム「Zoom」を使用します



2025年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 『ノーマライゼーション先進国』スウェーデンの障害者福祉とはー

研修のテーマ・企画ポイント

『福祉先進国』として名高いスウェーデンの障害者福祉は実際どのように機能しているのでしょうか。
ノーマライゼーションの考え方が社会に浸透し、「自己決定」と「自立支援」に重きを置くという、
この国ならではの概念に基づいたケア方法、アプローチの仕方、そして福祉サービスについて、
分かりやすく解説します。

- 1 過去リアル版の海外研修・調査に同行し、大変好評を得ているコーディネーター兼通訳の
エミル・オストベリ氏 がご案内します。
- 2 施設見学の際は、重症心身障害児・者のための
グループホーム/デイアクティビティセンターで
実践している様々なケア方法について具体的にご
紹介します。
- 3 実際の視察しながら施設の雰囲気を感じられる
よう、訪問者目線のビデオで施設内の様子を
ご覧いただきます。
- 4 ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが
可能！コーディネーターや現場で働くスタッフと
リアルタイムで交流できます。

コーディネーター兼通訳

エミル・オストベリ氏



オンライン研修の
経験も豊富！

スウェーデンを訪れる日本の
視察団の通訳・講義を行う
他、年に数回日本を訪れ、
スウェーデン大使館・大学・
病院などで自らの流暢な日
本語を駆使し、スウェーデ
ンにおける高齢者福祉、障
害者福祉、児童福祉につい
ての講演活動を行っている。



【見学施設一例】

Rödastugans gruppbostad
＜ロードストゥーガンス グループホーム＞



日中はデイアクティビティ
センター。スヌーズレン
ルームがある。
コンタクト・パーソンシス
テムを取り入れている。

※見学施設名の確定は2週間前頃となります。

健康生成論

重度の障害があったとしても、一個人として
精神面の健康を得るために生活における様々な
活動の目的を理解し、自身で判断できるように
促すこと

首尾一貫感覚 (SOC)

ストレスに対処する力を表す概念

1日目：講義

日時：2025年10月1日(水)
日本時間 16:00～18:00

テーマ スウェーデン障害児・者福祉の現状

- スウェーデン障害児・者福祉の概要と
その発展の歴史について
- ケアが必要な障害児・者へのサポートについて
・LSS法が提供する支援（グループホーム、サービス住宅、
デイアクティビティセンター、パーソナル・アシスタンス、
コンタクトパーソンなど）
・補助器具 ・ハウスアダプテーション ・教育システム
- 2日目の障害者施設の概要説明
(事前に録画したビデオをご覧ください)
- 質疑応答

2日目：障害者施設見学

日時：2025年10月8日(水) / 10月9日(木)
日本時間 16:00～18:30

※2グループに分けて実施する予定です。
日程については決定通知でご確認ください。

※最後の30分は受講者同士の交流の時間とします。

テーマ

グループホーム/デイアクティビティ
センターにおける重度心身障害児・者への
支援について

- 施設で実践している様々なケアについて
スヌーズレン／健康生成論・首尾一貫感覚／
アクティビティ／自立支援／補助器具 など
(施設職員がご説明します)
- 質疑応答

オンライン会議システム「Zoom」を使用します

